

# 就労支援の考え方と実施方法 ～実践編～

## <実践事例紹介者>

渡辺 ゆりか

(一般社団法人草の根ささえあいプロジェクト)

池田 佳寿子

(NPO法人 青少年就労支援ネットワーク静岡)

野々村 光子

(東近江圏域働き・暮らし応援センター`Tekito-`)

## <コーディネーター>

新保 美香 (明治学院大学)

# ようこそ 実践編へ！

実践編では、以下を目指していきます。

1. 就労支援の様々な実施方法を知る。
2. 地域づくりを視野に入れた、就労支援を通じた企業へのアプローチ、支援のネットワークづくりについて理解する。
3. 様々な支援に共通する、支援の姿勢、大切にすべきことを学ぶ。

# 自己紹介（渡辺 ゆりか）

1. プロフィール

2. 「就労支援」を一言であらわすと？

＜優しさの循環＞を  
生み出していくこと

# 自己紹介(池田 佳寿子)

1. プロフィール

2. 「就労支援」を一言であらわすと？

みんなが役割を持って

助け合える社会をつくること

# 自己紹介(野々村光子)

1. プロフィール

2. 「就労支援」を一言であらわすと？

『生きる為のパンドラの箱』

# 本日のすすめ方

1. 報告者に報告していただきます。  
(おひとり20分)
2. 1つの報告が終わったあと、5分間のバズセッションを挟みます。  
(名付けて“ミルフィーユ”方式！)
3. 報告者の方々から、更なるメッセージ(実践のポイント)をお話いただきます。



# 「環境支援型」就労支援の在り方

---

2019 自立支援事業従事者養成研修  
「就労支援の考え方と実践方法」

一般社団法人草の根ささえあいプロジェクト  
代表理事 渡辺ゆりか

[kp.grassroots@gmail.com](mailto:kp.grassroots@gmail.com)



～「環境支援型」就労支援の 基本理念～

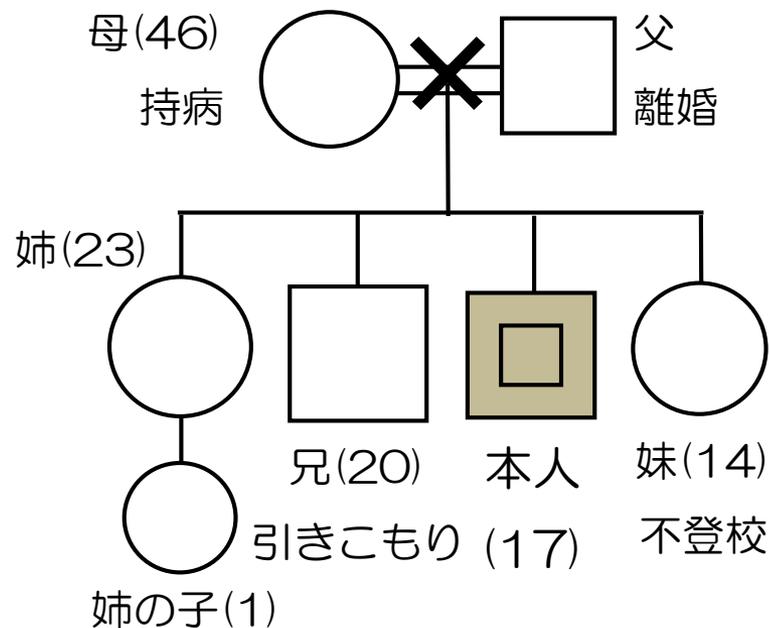
生活困窮者を 社会にとって

「なくてはならない人」と捉える就労支援

～「環境支援型」就労支援の 3か条～

- ① 本人を変えない、「環境」を合わせる
- ② 企業と本人の「文化」を大切にする
- ③ 「働きたい」という想いを叶えるために  
必要なことは、何でも「就労支援」

# 貧困家庭で育った仕事の長続きしない10代男性



秋川さん  
(当時17歳／男性)

- ◇学歴：中学卒
  - ◇特性：軽度の知的障害あり
    - ・数字が苦手
    - ・記憶力がよい
    - ・視覚情報の処理に優れている
  - ◇性格や特徴：
    - ・人とおしゃべりするのが好き
    - ・手先が器用
    - ・褒められると頑張れる
    - ・人間関係がうまくいかないとカッとなってしまう
- ＝短期離職を繰り返している

母親のパートのみで生計をたて、生活は切迫している  
6畳2間の部屋に、6人で暮らしている  
母親には持病がありこれ以上の長時間勤務が難しい

→本人の特性をもう一度見極め、環境を秋川さんに合わせる  
家庭的で職員同士のコミュニケーションが重視され、手仕事のあるB社との出会い

## <環境支援>



- ・視覚に優れているため、製品の細かい傷を見つける検品の仕事に
- ・他の従業員が見渡せるスペースで仕事し、孤立しない環境をつくる
- ・製品を並べるだけで、個数が視覚的にわかるように工夫
- ・相談のしやすい年配職員に、毎日声をかけてもらう仕組み作り



### ～本人の変化～

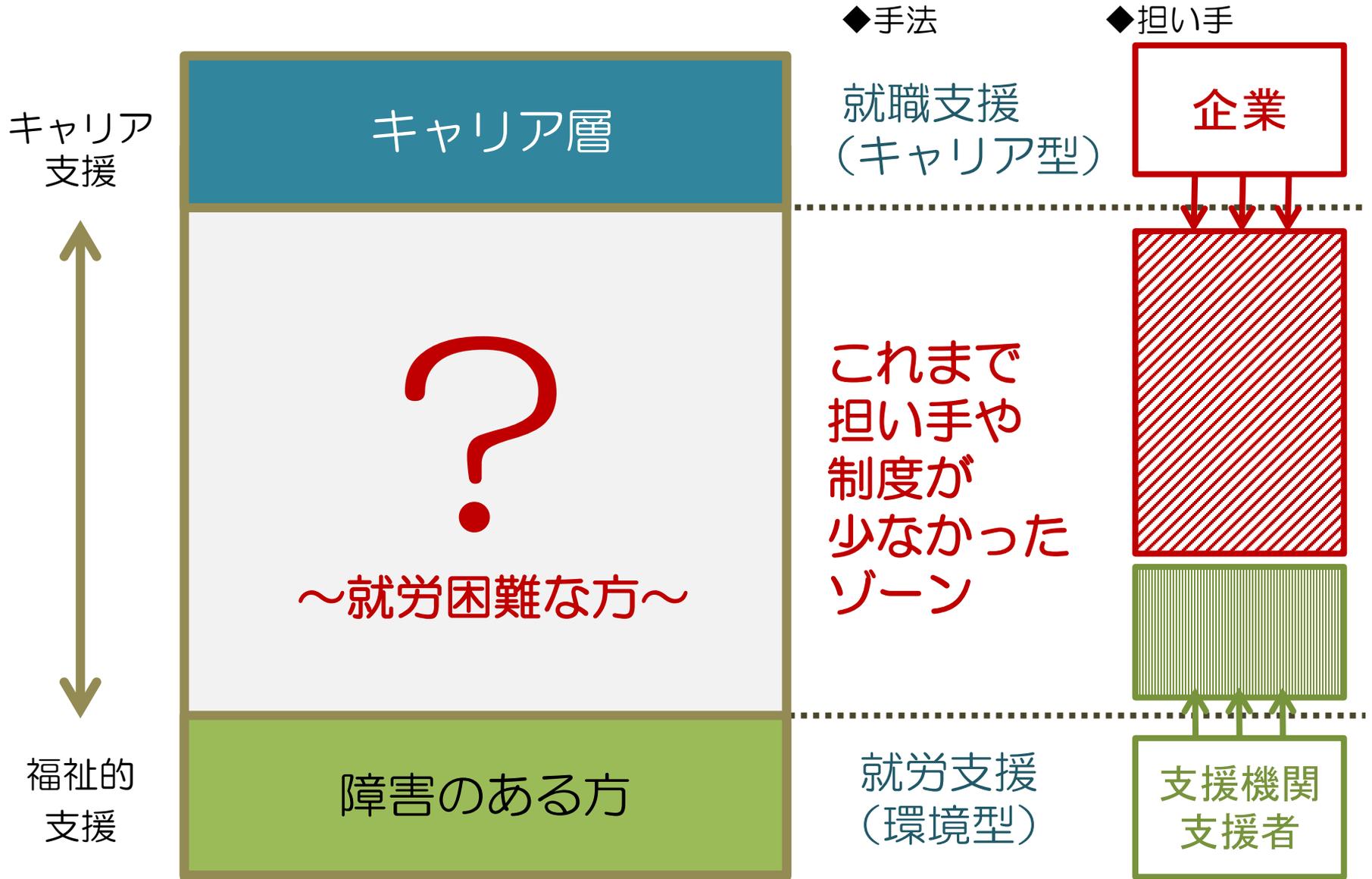
- ◇遅刻がなくなる
- ◇製品のクレームがゼロに
- ◇作業スピードも社内で一番に

### ～関わる人の変化～

- ◇会社: 製品ロスやミスがなくなり、売り上げが増加&信頼性が上がり取引先の拡大  
従業員のコミュニケーションがよくなり、離職者がいなくなる
- ◇先輩社員: 秋川さんの頑張りを見て、難易度の高い資格にチャレンジ
- ◇年配職員: 近所に住む引きこもりの若者に関心を持ち、声をかけるようになる
- ◇Aさんの家族: [兄]アルバイトスタート。パソコンの勉強をはじめ  
[姉]子どもを保育園に預けパートに [妹]専門学校に通い出す  
[母]仕事を減らし、治療に専念できるように

●企業とのマッチング ●環境支援 ●周囲のサポートにより、  
**トラブルメーカーだった秋川さんが、地域を変えていくキーパーソンに！**

# 就労支援における社会課題



# <キャリア支援型と環境支援型との比較>

	キャリア支援型	環境支援型
対象	一般・生活保護	障害者
目標	「就職」	「就労」
手法	窓口相談	同行・アウトリーチ
渡辺実績	就職44名 離職39名 定着率11%	就職94名 離職4名 定着率96%
生活困窮者	×	○

# ＜環境支援型 就労支援＞の意義

## 1. 社会資源としての「企業」

人口220万人を超える政令指定都市である名古屋市の、何よりの社会資源は「企業」である。企業には、数だけでなく仕事の多様性と経済的な基盤があり、生活困窮者を長期就労者として受け止めていく力量が潜んでいる。

## 2. 生活困窮者を受け入れることの企業「メリット」

これから益々人材が不足する企業にとって、「生活困窮者」を人材として戦力化できることは、大きなメリットである。また受け入れに伴う環境の整備や体制づくり等のプロセスで、すでに雇用している人材の再育成・生産性のアップ・短期離職の防止など、生活困窮者を受け入れることで結果として得られるメリットは数多く想定される。

## 3. 生活困窮者をつくる企業の「新しい価値」の創造

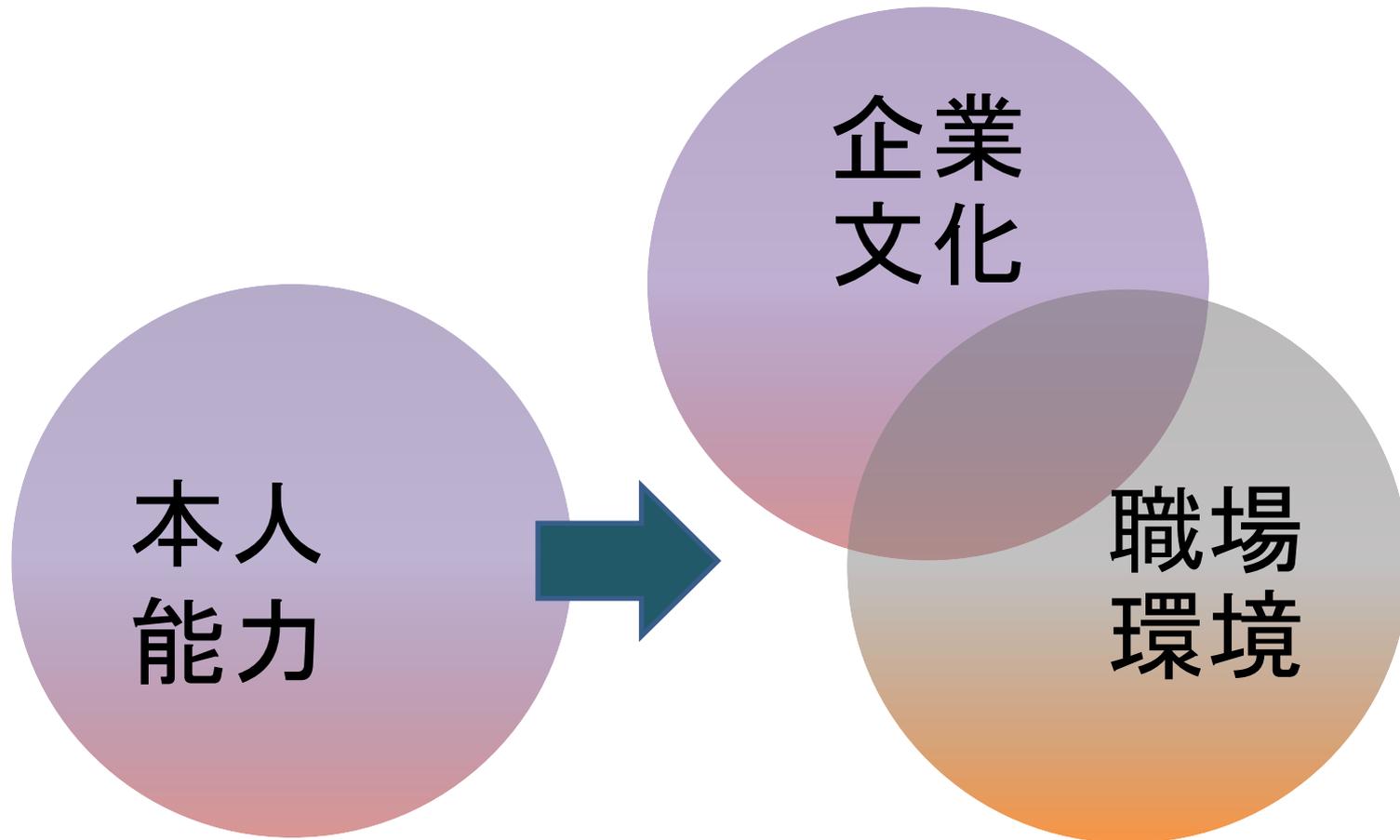
離職しても次の職場をすぐに見つけられるのであればよいが、その力が弱い人はどんどん就労から遠ざかってしまう。それを防ぐことが生活困窮者支援の重要なミッションであり、環境支援型モデルはそのミッションを、企業側とチームになって果たしていこうとするものである。そしてその実践は決して企業の利益を損なうものではなく、かえって企業に、新しい価値をもたらすことを念頭に置いている。

# <双方にとって失敗のおこらない企業開拓>



対象者を受け入れる事業所は、生活困窮者等の受け入れが初めての所も多い。そのため、特に企業においては、失敗がその後の受入れに大きく影響する。また、対象者は今ま何度も就労に対して失敗を繰り返してきた方が多いため、更なる大きなダメージになりかねない。

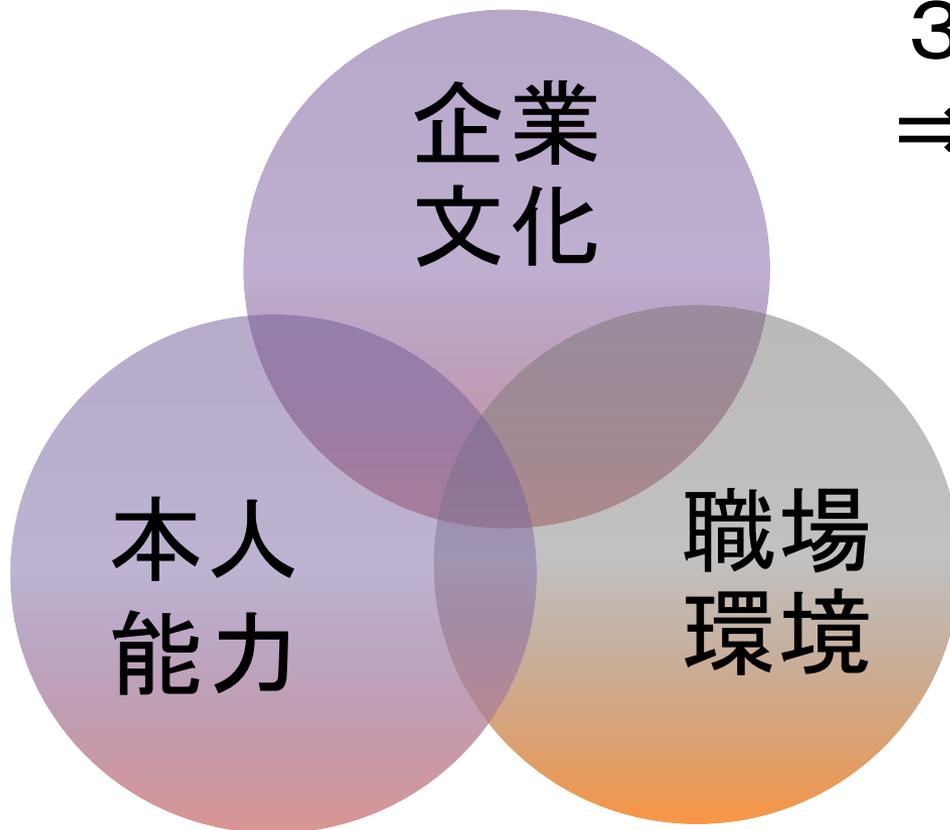
## <就労支援の失敗パターン>



本人を社会(企業)にあてはめる  
=就労できない人と見られる / 仕事が続かない(短期離職)

# 失敗しないためのマッチング

## = 本人を変えない、環境を合わせる



3つの要件が重なる  
⇒本人が企業にとって  
「なくてはならない」  
存在になる



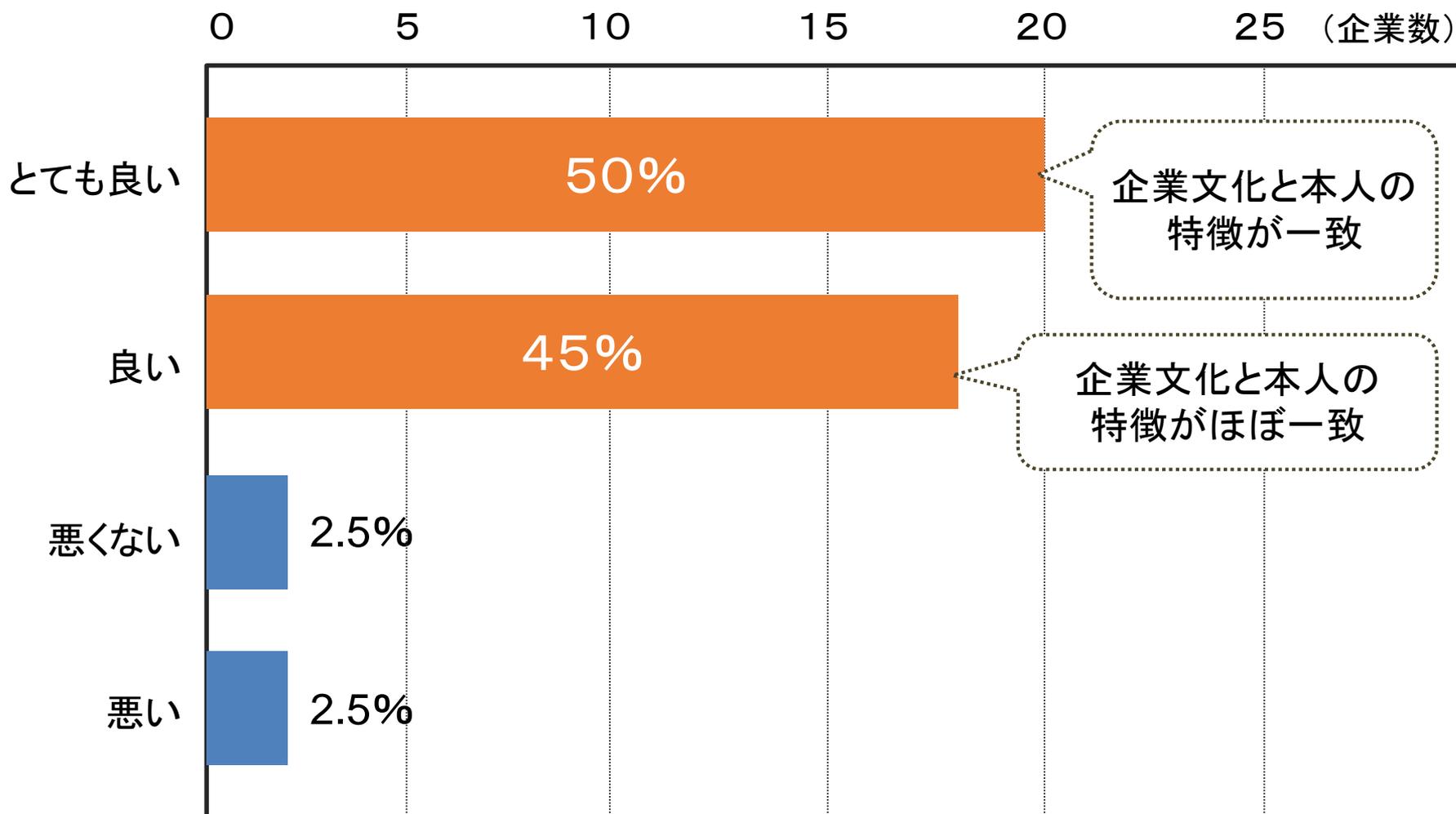
### 長期就労の実現

離職率の低下  
生産性の向上  
人材不足の解消など

# <4つの企業文化>

	企業文化	特徴
①	チームワーク	～チームや協働性に対する関心～ 職員同士のコミュニケーションを重視。業務以外の会話も多く、お互いの気持ちを気遣い、協力しながら業務を遂行する文化がある。
②	意欲・自主性	～仕事の姿勢に対する関心～ 業務に対して取り組む姿勢、熱意を重んじる。時間にこだわらずに働く職員が多く、自主性をもって業務を遂行することが求められる文化がある。
③	成果	～成果・品質に対する関心～ 業務に対しての質や成果が求められる。達成目標が明確に設定されており、個々を評価しながら戦略化することに力を入れる文化がある。
④	組織・ルール	～組織の体制や帰属に対する関心～ 肩書や役割を大事にし、会社の組織体系が機能することを重要視する。企業独自のルールを重んじ、上司の決定が重要視される文化がある。

# <長期就労における企業文化と本人の相性>



<厚生労働省 社会福祉推進事業 『生活困窮者の長期就労を実現した企業へのヒアリング調査に基づく効果的な就労支援の方法に関する研究事業』 一社)草の根ささえあいプロジェクト より>

# <本人の能力の見極め>

得意なこと	◎
できること	○
工夫や練習で できるようになること	△
避けたいこと	×

本人のスキルに合わせ、  
メインの業務や手順を決める

職種や業務の  
マッチング

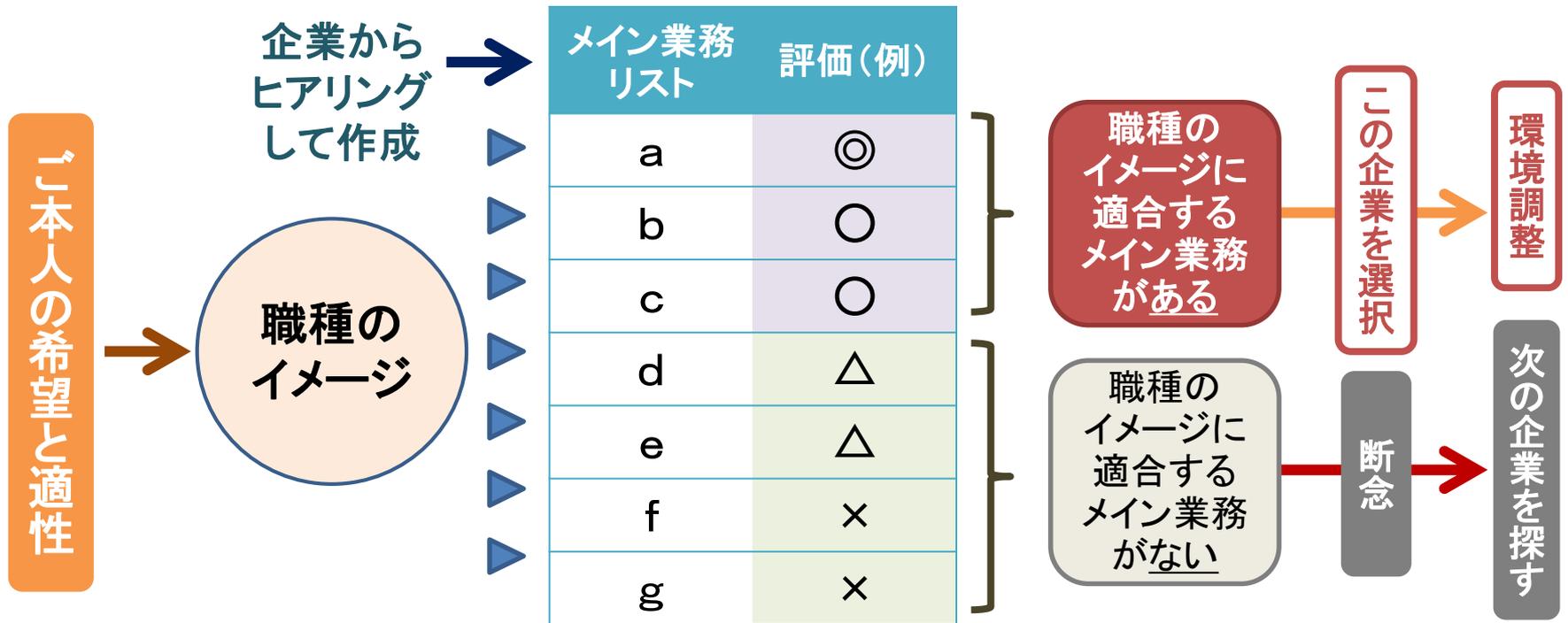
工夫

環境設定

「工夫すればできるようになること」「避けたいこと」への  
配慮事項や環境調整の方法  
を決める

# <職種や業務のマッチング>

～ジョブマッチングは、企業文化のマッチングと業務のマッチングにより完成する～



- ① 若者へのヒアリングによる「関心や適性」の見極め
- ② 企業へのヒアリングによる「メイン業務」のリストアップ
- ③ 「メイン業務」に対する適性の評価
- ④ ジョブマッチングの判断

※△か×ばかりになった場合は双方に負担が大きいためこの企業での就労はあきらめ、次の候補の企業にアプローチする。

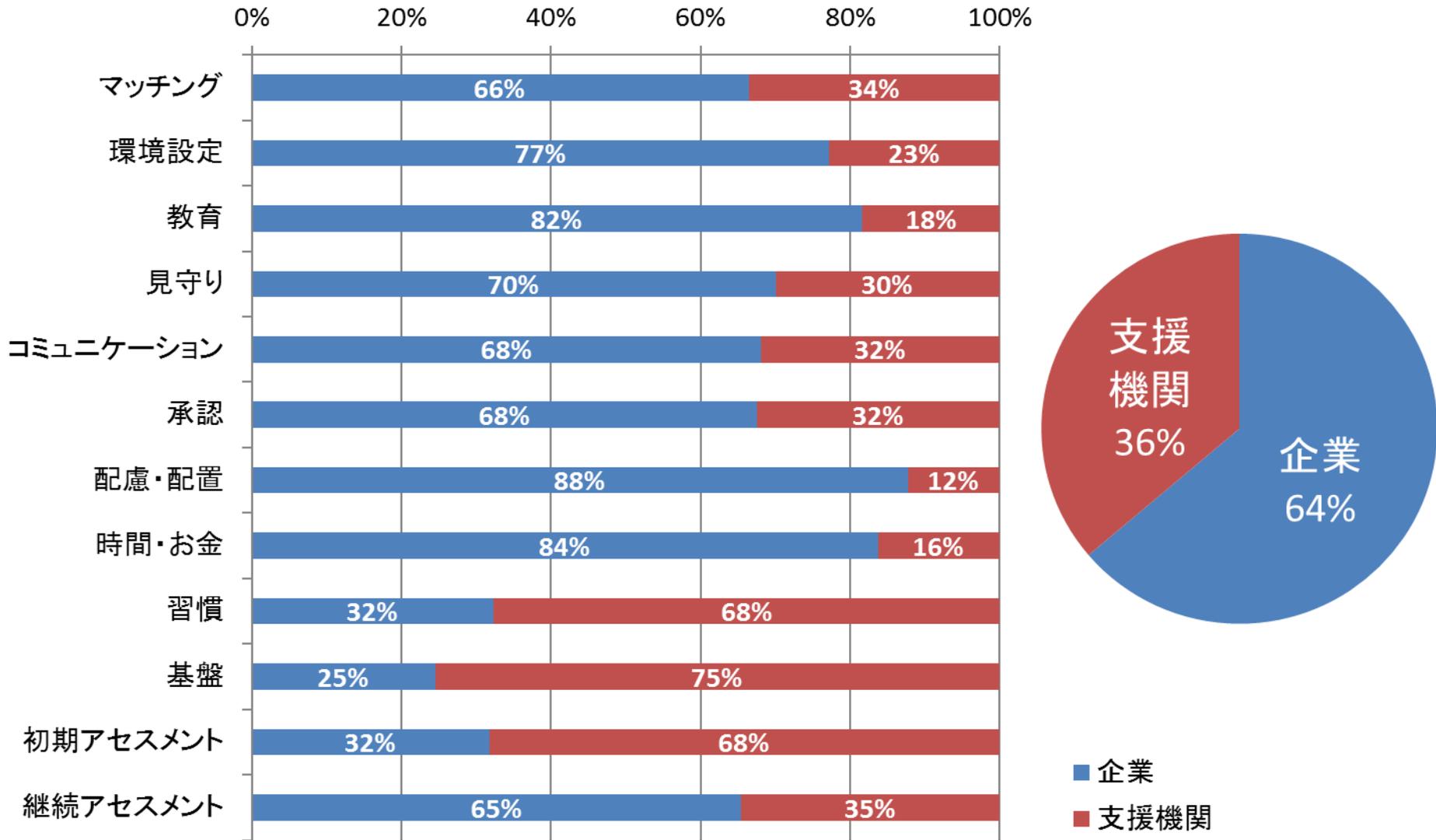
# <環境設定の種類>



# <生活困窮者が持つ主な困りごとやつまづき>

	困難のタイプ	特徴
A	「コミュニケーション」の困難さ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気持ちを言葉に置き換えることが苦手</li> <li>・言葉の意味を正確に捉えることが苦手</li> <li>・話し言葉での情報量が多いと混乱する</li> </ul>
B	「時間のとらえ方」の困難さ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効率よく作業を進めることが苦手</li> <li>・スケジュール管理が苦手</li> <li>・見通しを立てて行動することが苦手</li> </ul>
C	「新しいことや変化への適応」の困難さ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予定の変更に対応することが苦手</li> <li>・新しい物事にチャレンジすることが苦手</li> <li>・一度決まったことの撤回がしにくい</li> </ul>
D	「認知の偏りやズレ」からくる困難さ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルールを守ることが苦手</li> <li>・こだわりが強く、自分のやり方に固執</li> <li>・人の言動を思い込みで解釈しやすい</li> </ul>
E	「判断力や理解力に限界がある」ことの困難さ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら判断して業務を進めることが苦手</li> <li>・「一を聞いて十を知る」が苦手</li> <li>・複数同時の業務進行が苦手</li> </ul>
F	「空間把握や作業感覚にズレがある」ことの困難さ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業スピードがあがらない</li> <li>・段取りよく業務を進めることができない</li> <li>・人や物との距離感を適度に保てない</li> </ul>
G	「五感に過敏がある」ことの困難さ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚、聴覚の刺激に弱い</li> <li>・触覚、味覚、嗅覚の刺激に弱い</li> </ul>

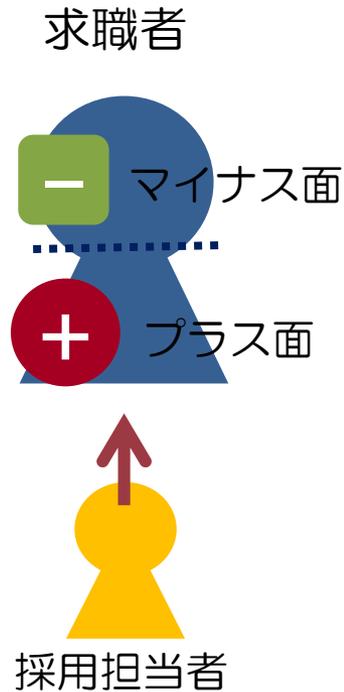
# <長期就労における企業と支援機関の役割分担>



<厚生労働省 社会福祉推進事業 『生活困窮者の長期就労を実現した企業へのヒアリング調査に基づく効果的な就労支援の方法に関する研究事業』 一社)草の根さえあいプロジェクト より>

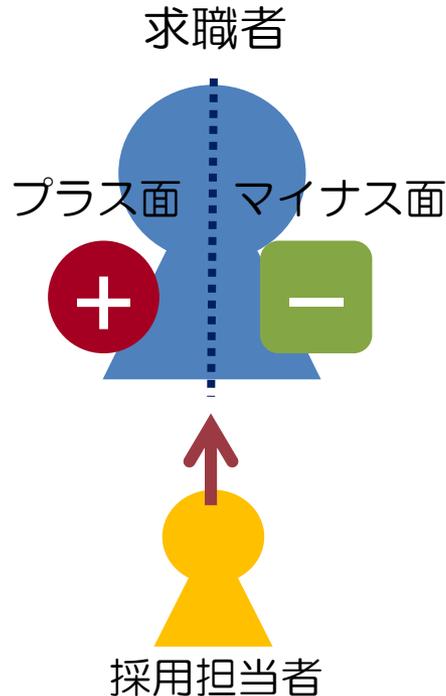
# <採用時のポイント>

## ◆キャリア支援型



プラス面を  
前面に出すため  
マイナス面が  
見えにくい

## ◆環境支援型の場合



マイナス面  
プラス面の  
両方が見え  
正しく理解できる

+

プラス面（よい面）＝適性  
適性から職種や作業内容を  
組み立てる

-

マイナス面（課題面）＝対応策  
不得意なことは、職場環境の中で  
対応策をたてることにより解決

プロフィールシート  
& 実習



# バズセッション

- 渡辺さんの報告からの気づきをバズセッションで共有してください！（5分間）

～メモ～



# 市民の参加と協力で作る誰もが居場所と役割のある社会

NPO法人青少年就労支援ネットワーク静岡  
事務局長 池田佳寿子

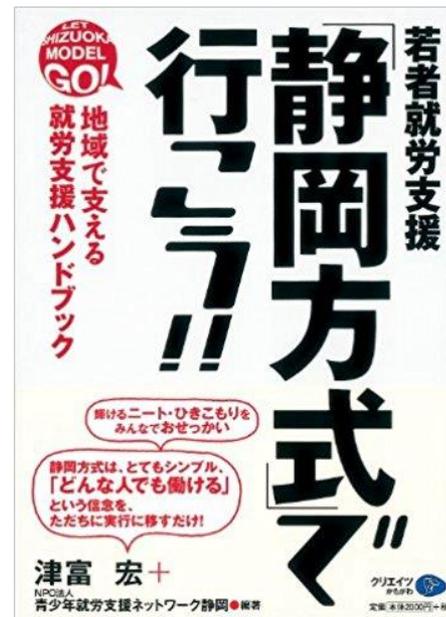
# 青少年就労支援ネットワーク静岡

「人とのつながりで人は変わる」

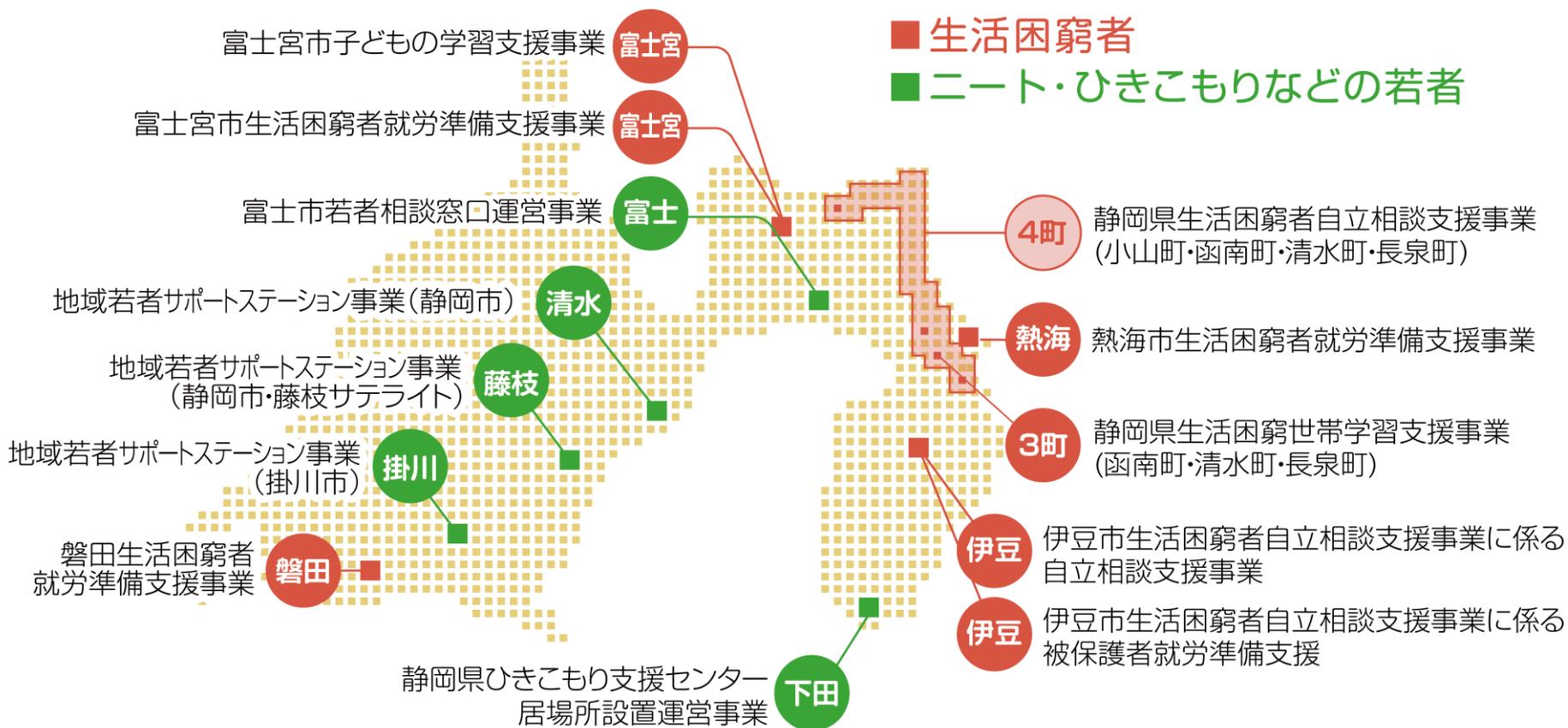
## ミッション

青少年就労支援ネットワーク静岡は、静岡県内の働きたいけれども働けない人びとに対して、市民のネットワークによる伴走型の就労支援を提供することを通じて、働く喜びを分かち合える、相互扶助の社会をつくることを目的とします。

平成14年	任意団体として発足
平成15年	支援を開始
平成16年	NPO法人化



# 平成で県内に1,400人のボランティア



支援しない。応援する。

私たちは人を支えない  
支えを外してしまえば落ちてしまう

本人の人生はあくまで、本人のもの  
本人の人生を送るのを「応援」する  
私たちは「応援団」

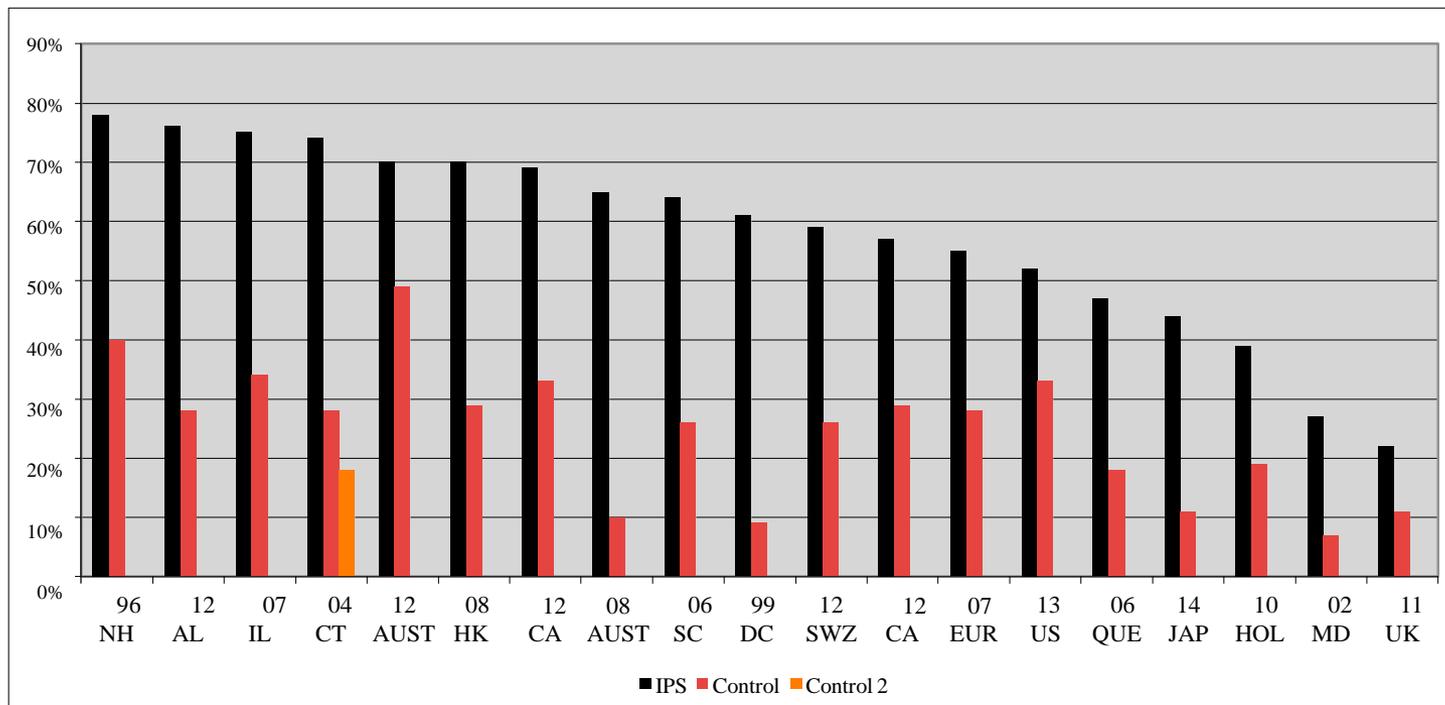
# 助け合える地域をつくる

- ・誰もが立場を入れ替えうる
- ・対象をカテゴリー分けしない
- ・問題の根幹にある貧困に出会う
  - ・困りごととは連関している
  - ・企業は地域の仲間である
    - ・問題が量的に大きい
- ・（前向きな）地域活性化にくさびを打つ

好きなこと・好きなもの・好きな人  
をもとに提案してみましよう

# 人は働けるという信念 IPSの効果研究 (津富)

就労率



# IPSの原則： 本人に対する信頼

- 1.競争的雇用に焦点が当てられている： **重い精神障がいをもつ人たちは目標を一般雇用において、それを達成することができる**と考える。
- 2.仕事探しをいつ始めるのかは**クライアントの選択**に基づいている： 働く準備ができているかどうかの評価・診断・症状・不法薬物の使用歴・精神科病院への入院歴・障がいの程度または刑事罰を受けた過去などによって、働くことを望む人々を排除しない
- 3.リハビリテーションと精神保健サービスの統合： IPSプログラムは精神保健治療チームと統合されている
- 4.**クライアントの好み**を尊重する： サービス提供はプロバイダーの判断よりむしろクライアントの好みと選択に基づいている。
- 5.個別の経済的カウンセリング： 雇用仕事スペシャリストは、クライアントのために社会保障、医療扶助他の公的援助に関する個人用にカスタマイズされ、分かりやすく、かつ正確な情報を得るのを援助する
- 6.迅速な職探し： IPSプログラムでは就職のためのアプローチとして、長期にわたる職業前評価や訓練・カウンセリングを行うよりもむしろ、**クライアントが直接仕事を得るのを助けるために迅速な職探しをする**アプローチを用いる
- 7.系統的な職場開拓： 雇用スペシャリストは、計画的に地元の雇用者と接触を持つことによって、クライアントの興味に基づく雇用者ネットワークを構築する
- 8.無期限の個別支援： **クライアントが望み、必要とする限り**、フォローアップ支援は個別に判断されて継続される

# 私たちにとっての地域とは

私たちが構成する  
私たちが主体である  
私たちのための地域

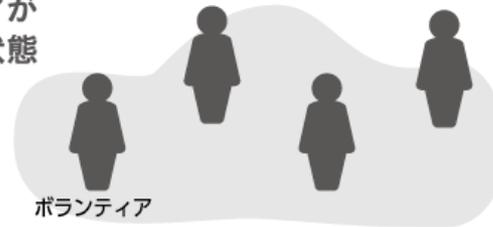
community of us, by us, for us



# 伴走で萃点をつくる

step  
1

核となるボランティアが  
数名しかいない初期状態



step  
2

ボランティアは就労支援の伴走過程で、  
協力者にボランティア登録をお願いする。

step  
3

ボランティア登録者全員へメールリストを送付。  
地域の困りごとを共有する土壌をつくる。



# 伴走で萃点をつくる

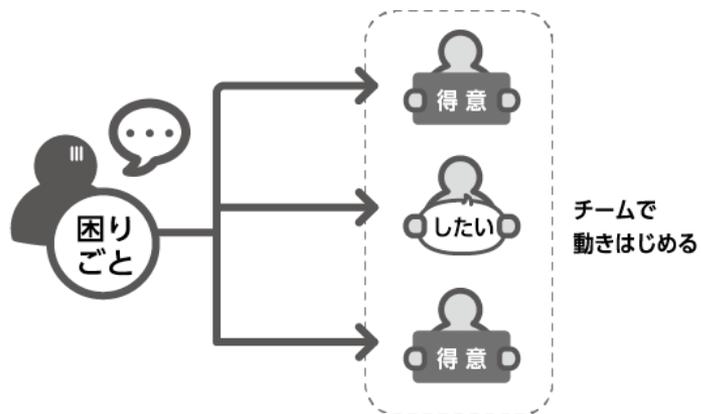
step  
4

ボランティア登録者の得意なこと、やりたいことがわかるように、ボランティア登録者が集まる機会をたくさんつくる。



step  
5

支援する人は「困りごと」に直面したときボランティア登録者の誰に頼めばよいかわかるようになり、「困りごと」を分かち合える。



# 萃点が自己増殖し、生態系となる



# 市民による対話の“普通さ”が問題を “解決”に導く

複数人で色々な角度から応援できる

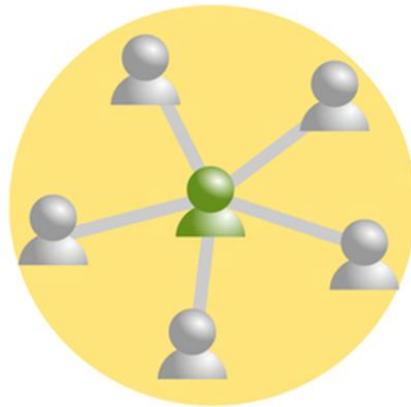
大切なのは、本人がいま話したいことを尊重すること。

「話を聞くとこと自体は同じだとしても、病気に関わる話を聞くのか、本人の話したい話、苦しさとかを聞くのかって、病人を診てるのか病気を持っている一人の人間を見てるのかで違う感じがするんですね。専門家があまりにも強くなりすぎて決めつけられたりする中で、話せなくなる人たちがいっぱいいるんじゃないかなって。対等な立場で輪になって“普通に”話せるようになれば、その言葉を話せなくなった、話しちゃいけなくなった人たちが自分の苦しさを話せるようになっていくんじゃないかなって。そうすると楽になっていくっていうか」

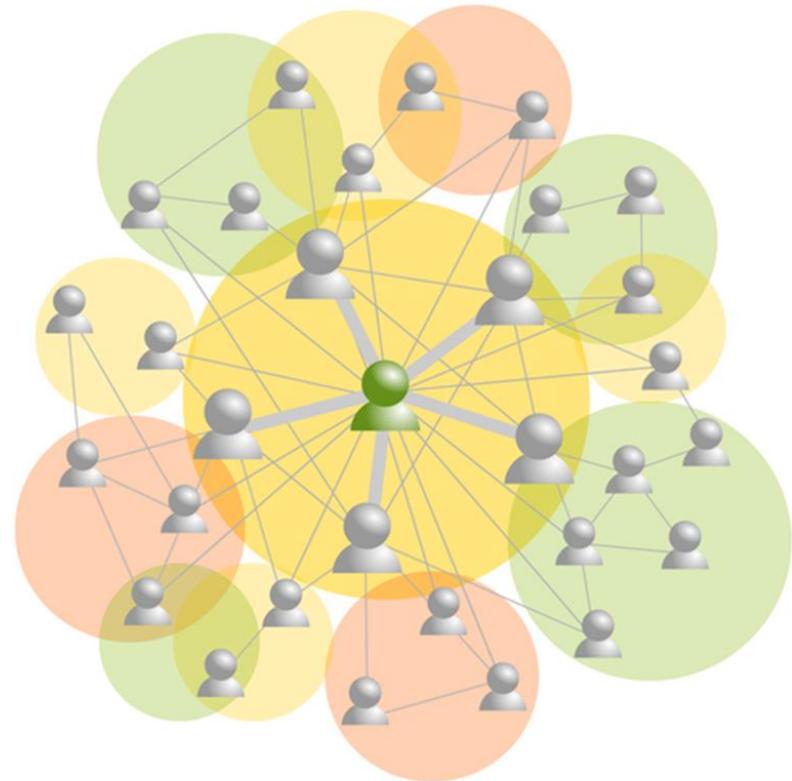
(オープンダイアログ：NHKハートネット)より

# ウィークタイズ(弱い紐帯)の強み

## The Strength of Weak Ties



CONNECTIONS THROUGH STRONG TIES



CONNECTIONS THROUGH WEAK TIES

市民ボランティアを  
どうやって集めているか  
&  
継続するための工夫

# いい人は皆 サポーターになってもらおう

- ・名刺交換した方(企業開拓先等)、
- ・地縁血縁、趣味の関係の方等
- ・ボランティアさんによる口コミや紹介
- ・元々応援されていた人やその家族
- ・ホームページでの受付
- ・講座の開催

# ごちゃ混ぜは 「支えるとき」「支えられるとき」

- 一対一の応援はやらない
- 支援・被支援の関係性、相性により途絶える
- 自立とは依存先を増やすこと  
(脳性麻痺であり医師である熊谷晋一郎さんの言葉)
- 支援者と呼ばれる人は悩まないのか
- 誰でも素敵なところがある、尊敬し合える関係
- 人はダメなところがある、万能ではない
- 場面状況により「支える時」「支えられる時」
- 支える側・支えられる側ではない、誰もが応援可能

## 困っている人とサポーターさんをつなぐ

- 伴走が必要な方ほど、情報提供のみでは動けない
- いいときは、咄嗟に動き、サポーターさんに繋がっている
- 応援団はたくさんいる(困りごとや不安は人数分の1、喜びは人数分の倍)
- サポーターさんとの時間を確保する
- 相性をほとんど考えない  
(応援団がたくさんいることは、世の中にはいろいろな人がいる日常と同じに近づく。  
正解を教える訳ではないから、1つの提案として)

# サポーターさんを頼る

- だから敢えて知っていることほどサポーターさんに聞いてみる、頼ってみる  
(動きやすくなるよう、リズムを作る)
- 知らないことは、一緒に動いて知ればいいそれが伴走だから。
- サポーターさんの強みを生かして、頼ってみる
- 信じる

# サポーターさんについて

- いい人
- 職業や年齢、性別はさまざま
- ボランティア登録用紙を書いています。
- 登録用紙には個人情報の守秘義務が生じます。
- 主にメーリングリストを利用
- 内容は困りごと(相談)やイベントの発信
- メーリングリストは見るだけでも良い
- 自分が参加できそうなものに参加する
- 特技や専門性を発揮していただく方もいる
- 直接、若者の担当をしてくれる方もいる
- 間接的に情報提供を行う方もいる
- できる時にできる事を
- 就労支援以外の事でも活躍されている



## 話を聴く

自分が落ち込んでいた時に、話を聴いてくれた人がいた。  
日向ぼっこをしながら、ゆったりとした時間を一緒に過ごす。

# 職探しミーティング



- **どんな仕事があるか、みんなで話し合う場**  
(ex. 秤量・供給・足場屋と三輪ジャイロから運転手へ)
- **好きなことや、ストレングス(魅力や可能性)、こだわりをもとに**



## 身だしなみを整える。

・学校は学ランだったから、面接に臨むと着たらよいか...  
のような服を着たらよいか...

・そこで、スーツやVシャツ、靴やおさがりを貸与したり、おさがりを貸与したり

・初めてネクタイを結ぶから、いかかわから教えるね。ク風なイヤを結ぶから、か良ひ

# 面接の練習と勉強会 (専門や技術を伴う職種に関して)



- 身だしなみや所作、  
等気を付けることと、  
一般的な質問につ  
いてはサポステ内  
で行ったけれども  
...
- 専門スキルについ  
ての質問が不安と  
のことで
- 急遽、希望職種の  
経験者でもあり、採  
用担当者もされてい  
たサポスターさんて  
に模擬面接をして  
もらいました。



## フォローアップミーティング から始まる出会い・化学結合

- 土曜日の午後に行ったFM
- どんな仕事ができるか悩んでいたUさんに、企業担当をしている市役所職員の方が「こんな会社見てみない？」とその場で、ある工場に連絡を取っていただきました。
- たまたま工場長がいたので、サポーターさんと3名ですぐに工場へ直行！！
- お互いに気に入って、後日面接をして採用となりました

## 職場訪問（働き続けることの応援）



- 働き始めるとなかなか連絡が取れなくなることもあるけれど、地域のサポーターさんなら、働いているところに様子も見に行ける。もしかしたらお客さんとして応援してくれることも。

## 学び直しをしたいと思っ時に



- 働くこと以外の進路も考え始めたOさん。
- 病気で高校を中退したため、高卒の資格を取りたいと考え始めたので
- 公立高校(定時制)の教員をしているサポーターさんにどんな進め方があるか聞くことになりました

# 高校で校内カフェを開く

高校の同窓会役員をやっているサポーターさんの発信！学校生活で困りごとがないか、アルバイトの応援が必要ならば即行動！家族や教員以外の地域の大人と出会う場。





## 趣味やリフレッシュ等の開拓

真面目な方たちが多いので、仕事の時間以外の過ごし方について、紹介や共有をしながらメリハリのある生活をする  
こと、また地域で一緒に生活する仲間として繋がりあうこと



## 地域活動へ一緒に参加

地域で生活する者として、自治会や消防団、  
漁協組合、教育委員会等のボランティア活  
動で地域を知る。

## その他やっていること

- ・食事に行く
- ・畑と一緒にやる
- ・スポーツと一緒に行う
- ・カラオケに行く
- ・コーラス部を結成
- ・ラフターヨガに参加する
- ・釣りに行く
- ・映画に行く
- ・貯金節約の仕方の研究
- ・起業の応援
- ・市役所等の窓口の伴走
- ・会社の求人情報提供
- ・制度や法律の改正の説明
- ・男のモテ講座
- ・マラソン
- ・カメラ部
- ・一人暮らしの準備
- ・引越し
- ・クラフトの会
- ・歴史の研究
- ・保護者との相談
- ・食材や料理のおすそ分け
- ・就労体験の受入れ
- ・ウォーキング
- ・ダイエット
- ・婚活組
- ・お一人様研究会
- ・お花見
- ・ジュビロ磐田
- ・託児所PJ

# 最近、サポーターさんから言われたこと

- 始める前

「就労支援をしたことなんてないから  
ボランティアと言ってもお役に立てるのかな」

専門性がないと出来ないと思いついでいる人が多い  
日常生活で自分自身が力不足だと感じている人が多い

- 始めてみて

「たいした事はしていないのに感謝された」  
「これならできそうな事はあるかもしれない」  
「一緒に楽しむ事が大事だね」

弱さも知っている私たちが、出来る時に出来る事をやればいい



就労支援を通じた地域づくり  
「こんな社会だったらいいのにな」といった  
個人の目標や夢の実現、そして運動

# バズセッション

- 池田さんの報告からの気づきをバズセッションで共有してください！（5分間）

～メモ～

働

人の思いが

重なって

大きな大きな力になる。

# 『10年後の彼を見つめた就労支援』

～ちようどいい働き方・暮らし方～

Tekito- 野々村光子

“働くということ”

私たちは毎日たくさんの  
「働きたい」と出会う。  
その「働きたい」思いには  
色んな意味がぎっしり。  
家族への愛や自分のヘタクソや  
自慢したい気持ち。  
稼いだお金で居酒屋へ・・・  
彼らの「働きたい」と出会う度、  
「働くこと」が持つ力の  
大きさに驚き、学ぶ。  
また「働くこと」は  
単なる作業ではなく、  
生きる力を育むステージ・・・  
そんなステージに立つ姿は  
誰もが真剣、誰もがカッコイイ、  
誰もがほんまもん。  
輝く場所がここにある。

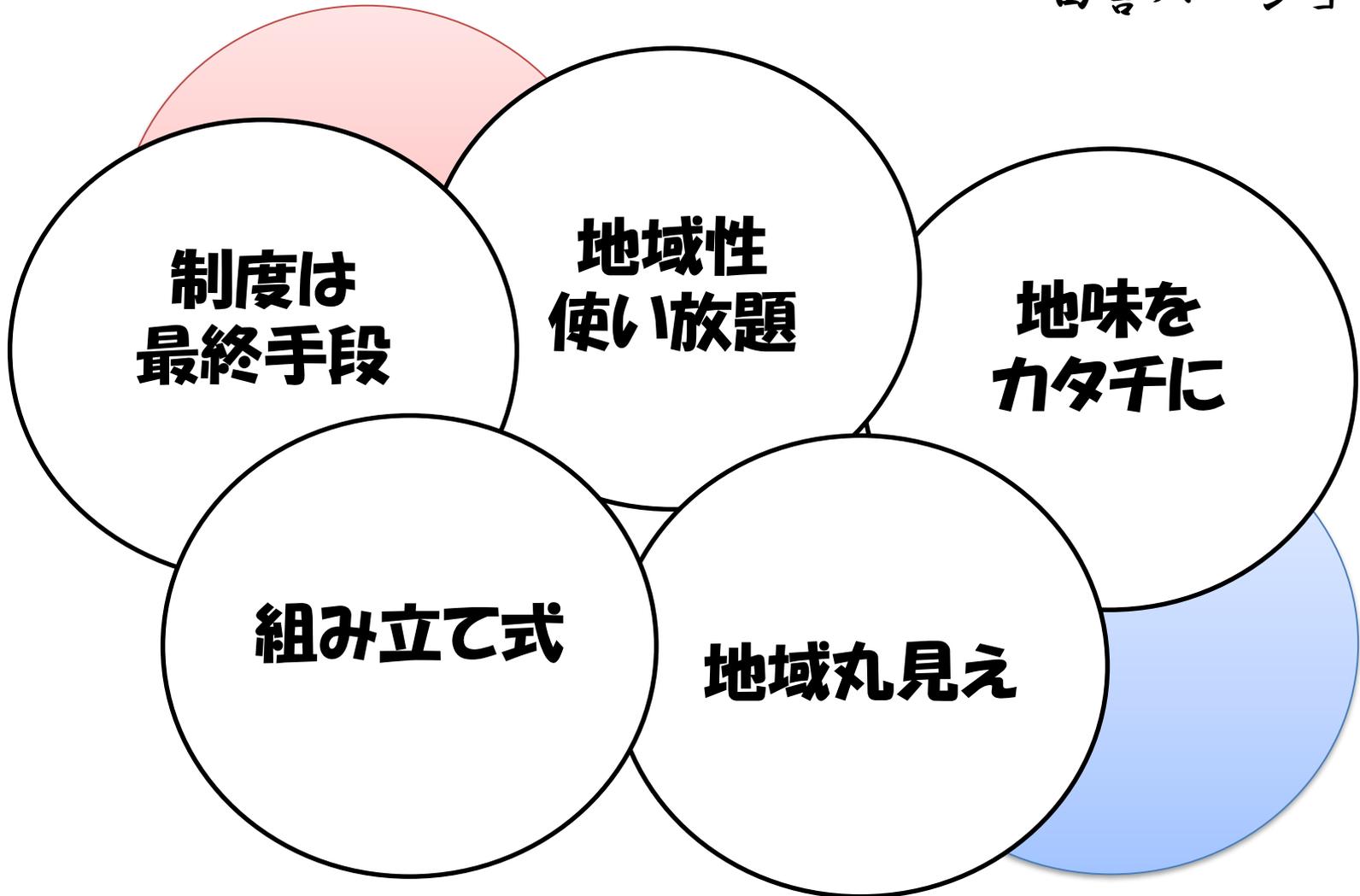
Tekito-



立つ場所って選べるんやな。  
働いた金で居間のテレビ買った。  
働くとええ事もあるわ。

# 『生活困窮者自立支援制度の活用方法』

田舎バージョン



『遠慮は要らん。配慮を下さい。』

**相談:** 働くことを窓口生きていく事について共に考える。

**企業にしか出来ない応援:** 見る・知る・選択する。

**応援方法について:** 課題はないという視点。

**生活について:** 働く事は24hの中にある。

**ネットワーク支援:** 人生のプロセスがほんまもんの履歴書。

『就職を目標にしない。かっこええ大人を目指す。』

～ 働けるラインではなく、働き方。～

**本人の働く条件=応援団の工夫**  
**【一人ひとりの“得意”の発見】**



**働く力は生きる力や。**  
**【知るステージがここにある】**

# 『TEAM 困救』

時代の流れと共に  
地域の「困りごと」は見えづらく、そしていつの間にか  
それは「諦めごと」になり始めている。  
私たち‘働きもん’は、そんな地域の困りごとを救う  
チームである。

誰が困っても解決できる地域へ・・・

そんな事を目指す我らは・・・Team 困救

『地域を救う担い手はここに居る』



**中途半端な輝ける場所**

～カッコつけて生きて行こう～

# 『地域は生きるアイテムや』

～思惑BOX～

## 地元企業

広すぎる敷地の緑化管理  
物流倉庫の荷運び作業  
従業員駐車場の整備  
フレハフ倉庫の解体

## 地域

個人庭の剪定  
田んぼ畔草刈り  
引っ越し手伝い

## 行政

図書館の緑化管理  
アンケート封入作業

## 団体

自治会除草作業  
イベント搬入作業  
コピー用紙配達  
パンフレット折り作業  
商品梱包作業  
リサイクル燃料製造

## 薪遊庭

薪割り作業  
森林の循環

**CHAKKA**

地元資材究極のリサイクル作業



『働く事に憧れる時間…』



**ものがたいから学ぶ**  
～ 色々な意味で、地域の宝～

# 『10周年 パラダイス事業』

～24時間 BBQ～



企業各業種退職した大先輩



# 『10年プロジェクト』

## その1

- ・「当たり前」のハードル。
- ・勝手にやってしまう、..  
許してくれる大人を増やす。
- ・制度でもブームでもない  
この地域の話をする。
- ・オモロイ事を妄想する。

### 10年プロジェクト

働きたいの思いを聞いてくれる家族。  
実習先の会社の社長。

仕事帰りに寄り道をするコンビニのお兄さん。  
みんなみんな応援団です。

直接支える応援ではなく、障がいのある方の  
「働きたい」がいつもそこにある事を知っている  
という応援。

あなたの心のどこかにあるそんな気持ちを表す  
マークです。

大切な愛車や職場のデスクに応援ステッカーを..  
1人1人の応援が10年後、地域が大きな応援団と  
なる事を目指して...

東近江圏域 働き・暮らし応援センター "Tekito"

# 『10年プロジェクト』

その2

- ・一石七鳥の実現
- ・働く事の確認
- ・連携のハードルを下げまくる。

仕事には

急にやれる魔法はない。

仕事には

俺たちを男前にする力がある。

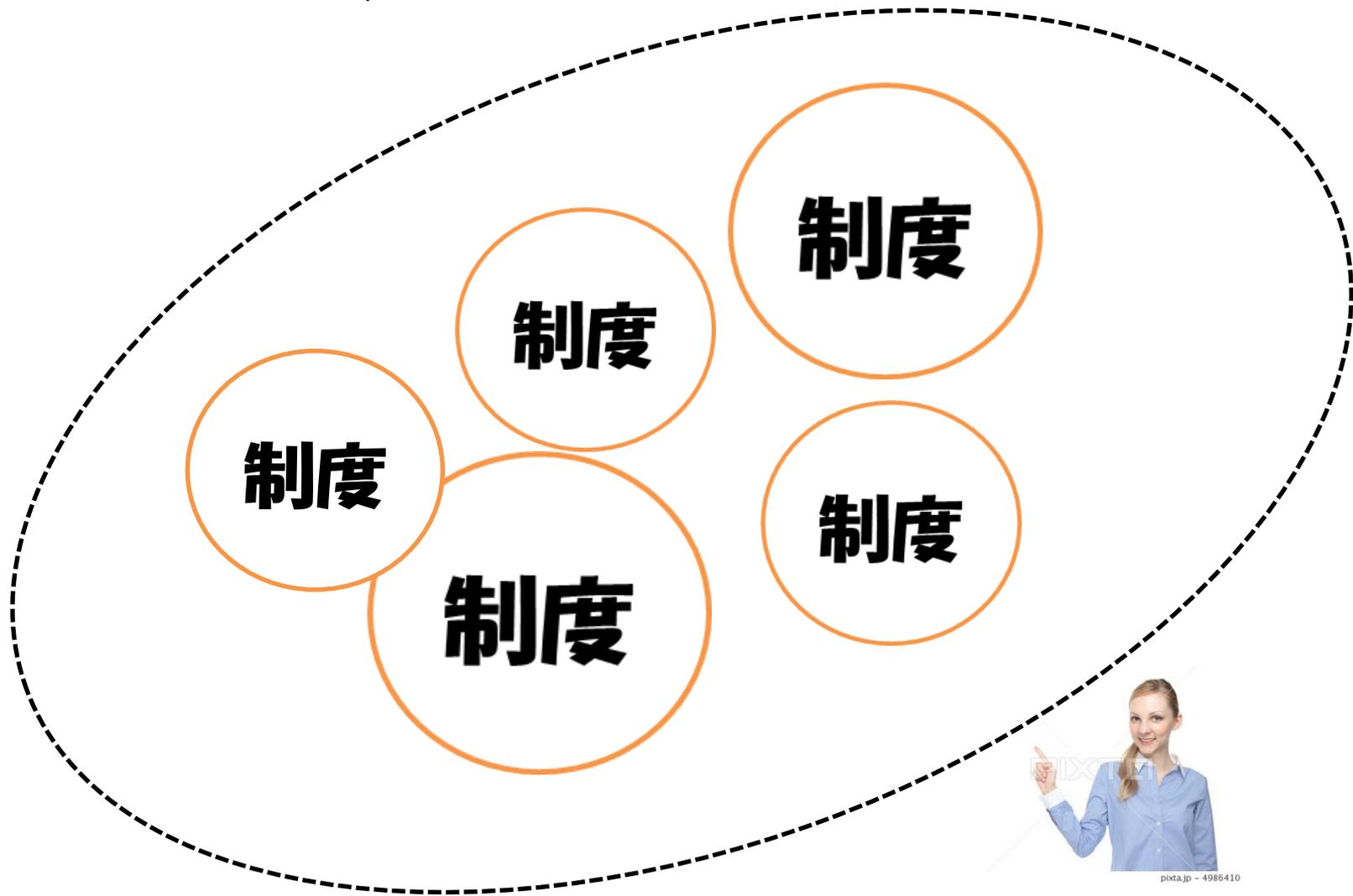
仕事とは

地味な毎日の積み重ね。

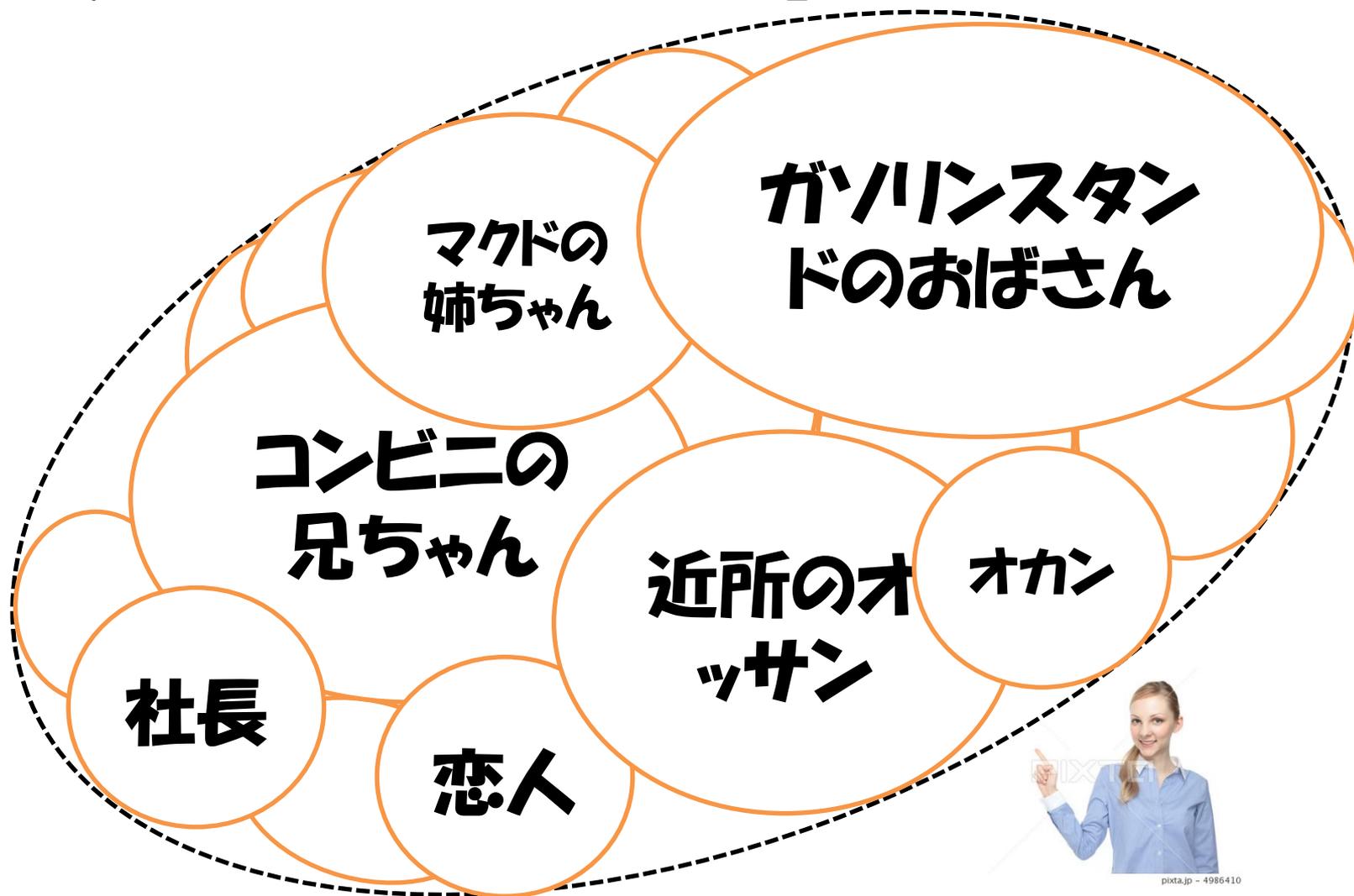
大事なもんが詰まるとる。



# 『ゴミ屋敷は最先端の暮らし』



# 『寝ているもんも使う図々しさ』



# 『引きこまれるという力』

今までも、これからも、  
人生にミスは無し。



# バズセッション

- 野々村さんの報告からの気づきをバズセッションで共有してください！（5分間）

～メモ～

ズバリ！

# 「環境支援型」就労支援 を実践するポイント



## 1. 本人を主人公にしよう！

たったひとりのために、オーダーメイドのチームをつくる。

## 2. アセスメントは永遠に！

みんなで、その方に関心を持ちまくる。

## 3. 「できることもちより」でいこう！

できないことを責め合うのではなく、得意分野をもちよる。

## 4. 珍しいキノコを集めよう！

バランスの悪い人こそキーパーソン！

※深刻さではなく、楽しさにいつもヒントがある！

ズバリ！

# 静岡方式を実践するポイント



働けると絶対に信頼する

伴走する

地域に仲間をつくる

支援・被支援を乗り越える



たぶん!

# 東近江方式を実践するポイント



★ 就職やなく就労 ★

★ 働けるラインやなく働き方 ★

★ 誰かやなく誰でも応援団になれる地域 ★



# まとめのセッション

今日の学びを  
ぜひ今後生かしていきましょう！